

吹き流しの作り方、測定方法

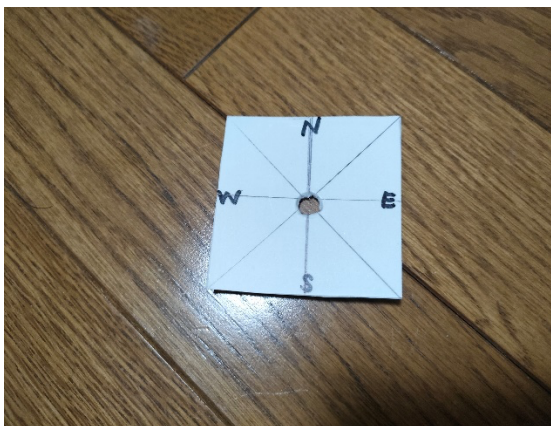
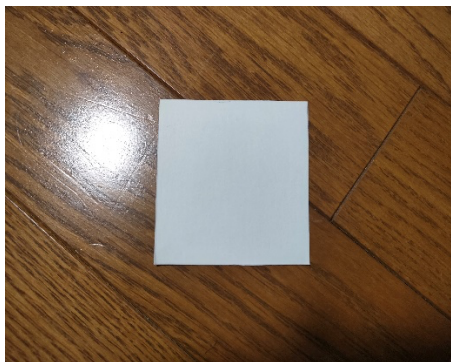
材料：500ml程度のペットボトル、牛乳パック

(発泡スチロール、スズランテープ付きストローはこちらで用意し、26日の午後の授業の前に配布することになりました。)

工具：ドライバーやきりなどの尖ったもの、はさみ、定規、油性ペン、セロハンテープ



1. 牛乳パックを一辺6~7cmの正方形に切る。そして、写真のように八方位を示す線を油性ペンでかき、その中心にドライバーなどで直径1cm(ストローの動きにゆとりが持てるように)の穴をあける。



2. 発泡スチロールのキューブをストローの下端にセロハンテープで固定する。



3. ストローの曲げる部分が、ボトルの底からは 25 cm、口の部分からは 3～4 cm となるように水を入れる。ここからの工程は当日行う。



4. 1 で作った紙の穴にストローを通し、紙をボトルの口の部分に裏側からガムテープで固定する。(ガムテープはこちらで用意します。)



測定方法・測定時の注意

- ・装置は平らな地面に置く。
- ・1分に1度、5秒間の目測での風向の平均を記録する。記録は気温を記録するエクセルファイルに行く。
- ・ストローの示す方位と実際の風向(風が吹いてくる方位)は180°異なる関係にあるため、紙に書かれた「北」を、方位磁針を用いて実際の「南」の方位に向ける。測定の際にはストローの示す方位をみて記録する。

補足・変更等があればメールにてお知らせいたします。